

あかり

創刊号！

あなたの毎日に、安心を届けるために。
部門紹介リハビリテーション科
「病院帰りにほっと一息。」レシピの紹介／お知らせ

一緒に参加しませんか？

市民公開講座：がん治療とお金の話

医療制度や治療と仕事の両立(就労支援)について、その他利用できる制度や支援など、がん治療に関わる生活やお金についてわかりやすくお伝えします。

日時	2026年10月24日(土) 13:30～15:00(開場13:00)
場所	関西電力病院 別館講堂
講師	社会保険労務士
費用	参加費無料
協賛	すこやかライフこころん(関西電力病院がん患者会)

事前申し込み不要

当日直接
ご参加ください

市民公開講座案内



すこやかライフ
こころん



市民向け『ダイアベティス・フェスタ』を開催します

ダイアベティス・フェスタとは、色々な体験を通じて「ダイアベティス(糖尿病)」について楽しく学ぶイベントです。理想的な体重管理を目指して、ライブクッキング、楽しく継続できる運動の体験など多くの企画があります。ぜひお気軽にご来場ください。

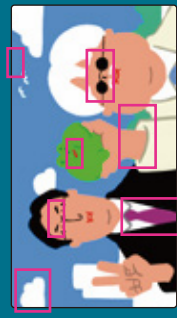
第12回関電ダイアベティス・フェスタ

日時	2026年11月14日(土) 14:00～16:00	場所	関西電力病院 1階・3階外来
対象	ダイアベティス(糖尿病)の有無にかかわらずどなたでも参加できます。(当院通院中でなくても、参加可能です。)		
講師	医師・看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師が各ブースを担当します。		
費用	参加費無料・予約不要		



ダイアベティス・
フェスタ
詳細はこちら

まちがいさがし
答え



お近くのかかりつけ医を探してみませんか？

些細なことでも相談しやすい

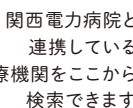
日頃の状態をよく知っている「かかりつけ医」がいると、ちょっとした体調の変化も相談しやすく、気づいてもらいやすいため、病気の予防や早期発見、早期治療が可能になります。

「どうすればいいか」
適切な判断を教えてください

『かかりつけ医』がいれば、病気や症状、治療法などについての確な診断やアドバイスをしてくれます。

専門的な医療機関を紹介してくれる

『かかりつけ医』は必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれます。



関西電力病院と
連携している
医療機関をここから
検索できます

<https://app.medigle.jp/kanden-hsp/patient>

病院で過ごす時間に、ほっと一息を。

病院に来る日は、少し気が重い日もあると思います。だからこそ、この広報誌が皆さまと病院をつなぐ、街のあかりのような、ほっと一息つける存在になればと願っています。当院で取り組んでいる医療と働く人たち、地域の先生方とのつながりをお届けし、「今回は何が載っているかな」と楽しみにしていただける一冊をめざしています。

地域医療支援センター長 加地 修一郎

あなたの声が
つぎの「あかり」になります

ご意見・ご感想をぜひ
お寄せください。
あなたの声が病院づ
くりにつながります。



高度な医療に、心の通う温かさを。
患者さんやご家族に寄り添い、
「ここなら安心」と
思っていただけの病院でありたい。
それが、私たちの願いです。



一期一生のご縁を大切に、
「ここなら安心」と思える病院へ

病院長 藤本康裕

関西電力病院は一九五三年の開院以来、七十年以上にわたり地域の皆さまとともに歩んできました。その間、医療は大きく進歩し、当院も救急医療から高度な専門治療、リハビリテーションまで幅広く担う病院へと成長してきました。しかし、どれほど医療が進歩しても、変わらず大切にしてきたものがあります。それは、目の前の患者さんに寄り添う姿勢です。同じ病気であっても、年齢や持病、生活背景、そして「どのように治療を受けたいか」という思いは一人ひとり異なります。当院では、診療科の垣根を越え、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなど多職種が力を合わせ、その方にとって最善の医療を考えます。そして、丁寧な説明と十分な対話を重ね、納得いただいたうえで治療に臨んでいただくことを何より大切にしています。病院を訪れるときには、誰もが少なからず不安を抱えているものです。だからこそ、困っている方への何げないお声がけや、入院中の食事、療養環境にも心を配る。高度で質の高い医療はもちろん、「ここに来るとほっとする」と感じてもらえる温かな接遇も、私たちが大切にしていることの二つです。患者さんとの出会いは、すべて「一期一生のご縁」です。AIをはじめ医療技術が進歩する時代だからこそ、人と人との信頼を何より大切にしたいと考えています。これからも、日々の健康を支え、いざというときには頼っていただける存在として、地域の皆さまとともに歩んでまいります。「関西電力病院でよかったと感じていただける患者さま満足度ナンバーワンの病院」をめざして、職員一同、努力を重ねてまいります。

私たちの3つの約束

私たちの3つの約束

私たちの3つの約束

01

患者さんへ

一人ひとりの思いを大切に、
納得して治療を受けていただける
医療をお届けします。

02

地域の皆さまへ

日々の健康から、いざというときまで。
地域の皆さまに頼られる
病院であり続けます。

03

職員の皆さんへ

互いの専門性を尊重し、
誇りとやりがいを持って、
ともに成長できる病院をつくります。

あかり

関西電力病院広報誌「あかり」
第1号(2026年10月発行)

編集後記はこちらから



 関西電力病院

<https://kanden-hsp.jp/>

〒553-0003 大阪市福島区福島2-1-7
TEL.06-6458-5821(代表) FAX.06-6458-6994



あなたの毎日に、 安心を届けるために。

病院とは建物や設備のことだけではありません。あなたを支えるのは、ここで働く「人」です。

それぞれの専門性を生かしながら、一人の患者さんのために力を合わせています。

1 総合案内

医療事務 Aさん
特技：多言語での
コミュニケーション

最初の「安心」を、私たちから。

病院を訪れるときは、誰でも少し不安なもの。迷っている方や
お困りの方を見かけたら、私たちからお声がけします。何げない
一言や笑顔も、大切なおもてなしの一つ。少しでもほっとして
いただけるよう、温かくお迎えします。

2 診療・治療

医師
リハビリテーション科部長 B医師
リハビリテーション科専門医・
指導医、脳神経外科専門医
趣味：筋力トレーニング

「あなたにとって1番」を考えます。

高い専門性と豊富な経験を生かしながら、私たちが見つめる
のは「病氣」だけではありません。その方の年齢や持病、生活
背景、思いにも目を向け、それぞれに合った治療を考えます。
分からないことや不安なことも、どうぞ遠慮なくお話しください。

3 チーム医療

看護師 Cさん
趣味：カプセルトイレ収集

一人を、みんなで支える。

一人ひとりの患者さんを支えるために、医師、看護師、薬剤師、
管理栄養士、療法士、社会福祉士など、多職種が連携しています。
それぞれの専門性を活かし、「その人にとってより良い医療」を
チームで考え、患者さんとご家族を支えています。

4 リハビリテーション

理学療法士 Dさん
趣味：ランニング・マラソン
特技：何時間でも
折り紙を折ってられること

治療の先の「いつもの暮らし」へ。

私たちが見据えるのは、治療の先にある患者さんの暮らしです。
手術当日や翌日からリハビリテーションを始め、必要に応じて院内の
回復期リハビリテーション病棟へ。できることを一つずつ増やし、
その人らしい毎日を取り戻せるよう、一緒に歩んでいます。

5 地域へ

医療ソーシャルワーカー
Eさん
趣味：お散歩

病院を出たあとも、安心が続くように。

退院は医療の終わりではなく、地域での暮らしへの新しい一歩で
す。かかりつけの先生をはじめ、地域の医療・福祉に携わる皆さん
と連携し、その後の生活に必要な支援へつなぎます。病院から
地域へ、そしていつもの暮らしへ。安心のバトンをつないでいきます。

部門紹介 リハビリテーション科

超急性期から回復期まで、切れ目のない リハビリテーションで『かえる』をサポート

当院のリハビリテーション科には、約60名の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が在籍しています。

ICU(集中治療室)で治療を受ける重症の患者さんへのリハビリテーションから、一般病棟、回復期リハビリテーション病棟での機能回復、
そしてご自宅や社会への復帰まで。患者さん一人ひとりの状態や目標に合わせて、切れ目のないリハビリテーションを提供しています。
「家にかえる」「いつもの生活にかえる」「自分らしさを取り戻す」——。そんな一人ひとりの『かえる』を、専門スタッフがチームで支えます。

急性期 リハビリテーション

手術や脳卒中などの治療後は、できるだけ早い時期から身体を動かし始めることが、
その後の回復につながります。当院では、手術後や脳卒中後の患者さんはもちろん、
心不全やがんの治療を受けている患者さんなど、幅広い病気に対応しています。
病状を十分に確認しながら、「起きる」「立つ」「歩く」といった動作や、日常生活に必要な
力を取り戻すためのリハビリテーションを行います。



MESSAGE



退院の先にある「その人らしい暮らし」へ。

ICU(集中治療室)から回復期リハビリテーション病棟まで一貫した治療概念に基づきリハビリテーション医療を提供しております。
優秀な理学・作業・言語聴覚療法士、きめ細やかな病棟看護師、幅広い知識を有した管理栄養士・薬剤師、幅広く退院支援に関わる
社会福祉士、病棟運営にかかわる事務局スタッフとともに、再びその人らしく社会生活を送れることを目指して診療を行っています。

回復期 リハビリテーション

回復期では、退院後の暮らしを見据え、より実践的なリハビリテーションを行います。
装具を使った歩行練習をはじめ、着替えや食事、トイレなど日常生活に
必要な動作の練習、記憶や注意力など「考える力」への働きかけにも積極的に
取り組んでいます。



膝を伸ばす運動
太ももに力を入れて膝が伸びきる
ところまで力を入れましょう。
足首を上にもろしながら伸ばすと
力がいれやすいですよ。

座って足踏みの運動
足が持ち上げるところまでしっかり
持ち上げましょう。少ししんどくなり
ますが、背を伸ばして腕の動きと
連動させると体幹の力もつので
上級者はチャレンジ。

踵を挙げる運動
背伸びをするように踵を上げましょう。
踵を挙げるときはリズムカルに、たま
に交互に踵を挙げたり工夫をして
みると運動が続きやすいかも。

脚を横に開く運動
膝を離すようにしっかり外へ開き
ます。手で膝の外側を押さえながら
行くと、しっかり力が入っていい運動
になりますよ。

POINT
膝を上から押さえる
ようにすると力が
つきやすくな
りますよ。

★推奨★
運動回数

初心者
20回／セット
1日／2～3セット

上級者
50回／セット
1日／3セット

※脚の疲れ具合や体調をみて、回数の調節をしてくださいね。

外来待ち時間に
ちょこっとリハ！

「病院帰りにほっと一息。」 レシピの紹介



ねぎダレは香りがよく、減塩
したい方にもオススメです！

コンビニ食材を活用した

さわやか鶏丼



材料(1人分)

・サラダチキン	100g	【特製ソース】	
・ご飯	180g	・カットねぎ	20g
・卵黄	1個	・酢	小さじ1
		・濃口しょうゆ	小さじ1
		・ごま油	小さじ1
		・砂糖	小さじ1

作り方

- ① サラダチキンは食べやす
くスライスする。
- ② 特製ソースの材料を全て
合わせる。
- ③ 器にご飯を盛って①と②
の具材のをせ、最後に卵
黄を添えれば完成。

コメント

余った卵白はインスタントスープと合わせ
ることで食材や栄養を無駄なくとることが
できます。ねぎダレはお好みでラー油を
加えるとピリッと大人の味わいに変身しま
す。火を使わずにササッと作れる簡単レ
シピなので是非お試しください。



手軽なのに満足感があり、
皆さまのアイデア次第で
アレンジ可能です！

焼き鳥缶で

オムレツ風



材料(1人分)

・焼き鳥缶(タレ)	1缶	・☆ピザ用チーズ	30g
・☆卵	1個	・☆コショウ	少々
・☆牛乳	50mL	・小ネギ、刻み海苔	お好み
・☆マヨネーズ	大さじ1/2		

作り方

- ① ☆の材料を電子レンジ
対応皿に入れ混ぜる。
- ② 焼き鳥缶を乗せて、ラッ
プをせずに600Wの電子
レンジで4分加熱
- ③ お好みで小ねぎや海苔を
散らして完成

コメント

材料を合わせて、電子レンジ加熱のみで
できる簡単レシピです。
たんぱく質が手軽にたっぷり摂れますので
忙しい朝や、食事の用意が面倒に感じる時な
ど、あらゆる場面で活躍するレシピです。
缶詰はお好みでサバ缶やツナ缶、カニ缶など
に変えていただいても美味しく仕上がります。



楽しく脳トレ! まちがいさがし

まちがいは全部で7つ

